

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	JASS2 (仮設工事) 小委員会	主 査 名 : 松崎育弘
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会	委員長名 : 嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本小委員会の目的は、JASS2 の前回改定 (1994 年 11 月) から既に 10 年が経過したが、建築工事を取り巻く大きな環境の変化に対応し、多くの現場工事担当者に利用される仮設工事標準仕様書に改定することである。	
委員構成 (委員名 (所属))	松崎育弘 (東京理科大学), 高田博尾 (早稲田大学), 瓜茂雄 (大成建設), 大幡勝利 (産業安全研究所), 岡野正 (クレーン協会), 小野原大 (大林組), 梶隆 (清水建設), 東海林菊夫 (仮設工業会), 藤井卓美 (竹中工務店), 藤原和浩 (建設業労働災害防止協会), 宮坂達 (鹿島建設), 中野克彦 (新潟工科大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)		
2003 年度予算	170,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 5 月 23 日 (11 名), 2003 年 7 月 1 日 (12 名), 2003 年 8 月 21 日 (9 名), 2003 年 9 月 26 日 (9 名), 2003 年 10 月 29 日 (9 名), 2004 年 1 月 9 日 (10 名), 2004 年 2 月 27 日 (8 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2003 年度には、計 7 回の小委員会を開催した。これまでに、1994 年版 JASS2 改定にあたっての基本方針を確認し、改定作業の項目を審議した。</p> <p>新 JASS2 (2005 年発刊予定) の本文原案が、ほぼ完了した。本文は、単位・省庁名称・法規・制度等の変更による基本的な訂正、社会や技術の変化に伴う改定および陳腐化した項目の改定、さらに、性能設計を念頭に置いた内容となっている。</p>
	委員会 HP アドレス :
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の 2003 年度における活動計画は、現行の JASS2 (第 4 版) の読み直し、本文の加筆ないし削除項目の洗い出しおよび本文案の検討である。2003 年度の活動により、新 JASS2 の本文案がほぼ完成していることから、十分な成果が得られたと考えられる。</p>
その他評価すべき事項	